



# すまいるん vol.52

社会福祉法人 済生会  
済生会熊本福祉センター

- 就労継続支援A型・B型  
就労移行支援  
済生会かがやき
- 幼保連携型 認定こども園  
済生会しらふじ子ども園  
児童発達支援センター  
済生会なでしこ園
- 就労継続支援B型  
生活介護  
済生会ほほえみ
- 済生会グループホーム事業所  
済生会熊本福祉相談支援センター
- 就労継続支援A型・B型  
済生会ウイズ
- 熊本市障がい者相談支援センターさいせい  
熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!! 済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約470名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

## 済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

**理念** 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

- 基本方針**
- ・ライフステージに応じた自立を支援します。
  - ・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
  - ・利用者主体の福祉を実践します。

## 2019年度 済生会福祉センター運営基本方針

済生会熊本福祉センター 所長 道端 由美子

2019年度運営基本方針のキーワードは「済生会福祉のブランド力の確立」としました。済生会熊本福祉センターは今年15周年を迎えます。2004年に前法人から引継時は6事業でしたが、現在は9事業に成長させて頂きました。2018年は「熊本市障がい者相談支援センターさいせい」を開設し、相談支援センターの事務所を西区春日1丁目に移転しました。また、「しらふじ保育園」を「幼保連携型認定こども園」に移行し、一時保育を開始しました。これらの事業はより公益性が高く、これまで以上に成果が求められることとなります。地域が抱える課題解決に向けて福祉センター一丸となって取り組む必要があります。第一回は地域の支援の底上げを目的に講演会、研修会の開催を計画しています。2019年6月1日(土)「睡眠障害について」熊本大学名誉教授三池輝久先生による講演会を熊本病院のホールで開催予定です。子供から大人まで睡眠の大切さについて学習したいと考えています。皆様のご参加をよろしくお祈りします。

## 済生会熊本福祉センター 2019年度運営基本方針

**キーワード** 済生会福祉のブランド力の確立

大項目	小項目
1 済生会福祉の ブランド力確立の ための質の向上	①理念・基本方針、支援内容における内部理解の促進と外部周知への発信 ②障がい者(児)を支える支援の質の標準化 ③スケールメリットを活かした支援内容(知識・技術)の獲得のための積極的な施設内外研修促進 ④利用者・保護者・関係機関の満足度向上 ⑤地域包括ケアの中核を担う人材の育成
2 地域社会、家族との 連携・協働	①講演会・研修会等、福祉センター全体事業としての啓発活動 ②施設間、行政、関係機関、家族会、地域住民、福祉関係者・支援者、支援学校等との連携 ③施設機能(設備、福祉の専門性)の地域への還元 ④家族参加型の行事・活動の開催 ⑤実習生・ボランティアの積極的受け入れ体制の整備
3 福祉サービス収益の 安定を図るための業 務プロセスの見直し	①障害福祉サービス等報酬改定による収支分析と対策 ②利用者確保と利用率アップのための支援の充実 ③就労継続支援事業の品質管理、在庫管理、予算管理による事業の安定化 ④働きやすい職場環境整備 ⑤業務プロセスの見直しによる効率化

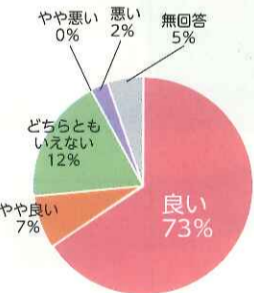
## 2018年度 満足度アンケート集計結果

～福祉センター『利用者(児)満足度調査』集計結果より～  
2018.10月実施

サービス向上委員会では、福祉センターを利用されている方を対象に、毎年『利用者(児)満足度調査』を行なっています。◎雰囲気や環境・安全管理面について◎職員の状態・対応◎行事活動◎給与や工賃についてなど、7項目のアンケートへの回答と多くのご意見・ご要望をいただきありがとうございました。

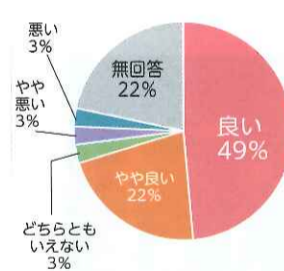
今回は314名の方から回答をいただきました。下のグラフは各事業所の総合評価の結果です。

### 済生会かがやき (38名回答)



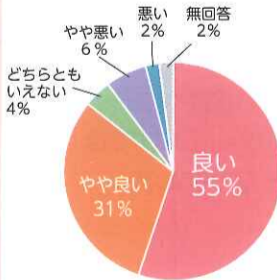
今年A型10名、B型22名、就労移行6名の計38名が回答されました。全体評価では昨年よりも「良い」「やや良い」を合計したポイントが4%増となっています。項目ごとのポイントは「職員の態度、対応について」は高く評価して頂き、今後も言葉使いや利用者さんの声に耳を傾ける姿勢を大切にしていきたいと思っております。一方でそれ以外は昨年と比べて「良い」が減少し、「やや良い」が増加している傾向が見られました。特に「仕事」については、利用者さんの中には体力的な疲れや負担を感じているとの声も聞かれています。その際は1人ひとりの将来に向けて本人とご家族の意向を尊重しながら、他事業との併用や作業内容の変更などを提案させて頂いております。今後も皆さんが安心して通所できる事業所づくりを目指して努力してまいります。

### 済生会ほほえみ (37名回答)



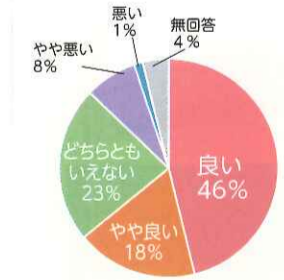
B型9名、生活介護28名の計37名が回答されました。総合評価では、「良い」「やや良い」が71%であり、昨年と変わらない結果でしたが、「良い」がやや減少傾向にありました。今回頂いたご意見・ご要望で多かった昼ご飯のリクエストメニューに関しては、給食会議にて検討しています。また、外出活動を増やしてほしいという声には、聞き取りを行いながらドライブ活動の充実や個別支援、日中活動の際に外出の機会を増やすことを計画しています。今後も利用者の声に耳を傾け、利用者一人ひとりの個性とニーズに基づいた支援と利用者のストレスに着目した支援を心掛けていきます。

### 済生会ウイズ (49名回答)



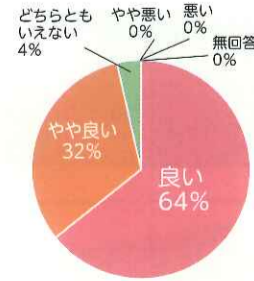
A型22名、B型27名の計49名の方に回答いただきました。総合評価では、「良い」「やや良い」を合わせると86%となり昨年度よりもわずかですがプラス評価となっております。項目別にみると、「仕事について」では、利用者間の人間関係に悩んでいる意見が多く出ており、「職員の態度・対応について」では、もっと相談に乗ってほしい、という意見も出ています。これからも利用者さん一人一人の話をじっくり聴く時間をつくり、楽しく笑顔あふれる職場となるよう努めていきたいと思っております。

### 済生会グループホーム事業所 (78名回答)



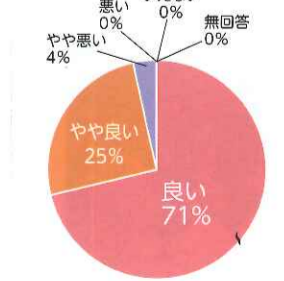
総合評価「良い」「やや良い」は64%、昨年と比較するとわずかではありますが5%減となりました。項目別にみると「人間関係について」の評価がやや低く、ホーム内のトラブルや利用者間の関係が悪いという意見が寄せられました。この結果を受け、利用者の自治会活動がさらに充実したものになるように、うちだホームでは「夜のつどい」を11月より開始し、一日の出来事や困っている事等を話しあい、共同生活におけるルールを守って楽しい生活が送れるように取り組んでいます。また、並建・地域のホームでは「利用者会議」を開いています。利用者のみなさんが安心して生活をおくる事ができるように迅速な相談への対応仕組みを作り、職員一同、改善に努めていきます。

### 済生会なでしこ園 (24名回答)



総合評価で比較すると、「良い」と「やや良い」をあわせた結果は前年度と同率となっております。項目別に見てみると、「療育支援」「安全管理」「施設・設備」で非常に高い評価を得ている反面、「給食」や「保護者勉強会」の項目では若干満足度が低い傾向にありました。これは通常通園児と併行通園児に対し、同一の内容で調査を実施していることも関係しており、利用形態に即した調査項目の検討が必要です。また、「苦情・要望への対応」に関しては、「どちらともいえない・どちらかといえば不満」という意見が一定数あることから、個別面談やお便り帳を通してさらに把握に努めていきたいと思っております。

### 済生会しらふじ子ども園 (88名回答)



30年度は満足度調査の項目を変更し、認定子ども園への移行もあり満足度の総合評価では、今回が「良い」と「やや良い」の合計は96.6%と昨年の80%より向上しています。認定子ども園の移行に伴い、子ども園の説明・重要事項説明などを行ったので、保護者の皆様に御理解を頂いた結果だと思っております。しかしながら、子ども園が実施していることが十分に伝わっていない部分もあり、ホームページや連絡メール・掲示板を通して一層の情報発信を行ってきたいと思っております。

**おしらせ**  
3月・4月・5月の出来事

★ 済生会なでしこ園  
3月29日(金) 卒園式

★ 済生会しらふじ子ども園  
3月23日(土) 卒園式  
4月6日(土) 入園式

★ 済生会かがやき、済生会ほほえみ、済生会ウイズ、済生会グループホーム事業所  
第18回くまもと障がい者スポーツ大会

4月21日(日) 水泳競技  
5月12日(日) 陸上、卓球、フライングディスク、ボウリング競技

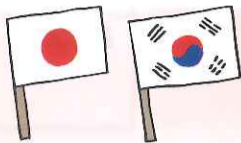
済生会グループホーム事業所

### 第三者評価を受審して

第三者福祉サービス評価を2018年11月26日、27日の2日間で2回目を受審しました。3人の調査員より、管理面、地域貢献、サービス全般について、現場視察、書類審査、ヒヤリング（管理者、サビ管、支援員、世話人）等を行なっていただきました。受審するに当りマニュアルの見直し、掲示物や花壇の手入れなど一気にきれいな環境になりました。改めて、理念や基本方針を具体的に実践していくことが利用者さんのサービスの質向上につながることを痛感しました。今回の受審により様々な気づきがあり、今年は課題への取組みを行なう年にしたいと思います。



### 韓国からの施設見学を受け入れました



1月8日、韓国大元大学校社会福祉学科、運動リハビリ学科より内田施設の見学がありました。ソウルより南東部にある大学で、見学者16名、通訳1名の計17名の方々が来所されました。視察訪問を通して韓国との比較をし、国際的な視野・知識を得るための訪問で、道端所長よりパワーポイントで概要を説明した後、支援の現場を見学して頂きました。韓国でソーシャルワーカーを目指している方やリハビリの仕事を目指す方々が中心で、見学や意見交換の際には日本の制度や支援の内容について興味津々で色々質問をされていました。昨年の訪問に引き続き、よい国際交流の場となりました。



### 消火・避難訓練



12月7日、内田施設で消火・避難訓練を行いました。タバコの火の不始末により、調整池で枯草火災が発生したとの想定です。火災の連絡を受け、直ちに利用者の皆さんを外へ避難誘導、消防署への連絡と消火活動を迅速に行いました。今回の特色は、屋内消火栓を実際に放水してみたことです。確実に放水ができるのか、どれぐらいの水圧があるのか等について身を持って体感しました。無事全員の避難を確認して終わることができ、最後には屋内消火栓の使い方をレクチャーして頂きました。

### 忘年会



#### 済生会かがやき

今年のかげやき忘年会は、利用者アンケートをもとに熊本市街で行いました。スポーツ熊本で開催したボウリング大会では、皆さんやる気満々で楽しく得点を競い合いながら取り組まれていました。午後から行った「つば八」での宴会では、美味しい料理やプレゼント渡しなどのイベントに皆さん満足されたようでした。楽しかった2018年を振り返りながら、みんなで楽しい一時を過ごすことができました。



### ライオンズ駅伝



2月9日（土）、えがお健康スタジアムにおいて「第19回熊本中央ライオンズクラブ杯 障がい者駅伝大会」が開催されました。済生会熊本福祉センターからは3チームが出場しました。おしくも入賞は逃しましたが、全員が心をひとつにして、安全かつ盛大に大会を終了する事ができ、思い出に残る1日となりました。



### なでしこゼミナール

#### 済生会なでしこ園

2019年2月、今年度最後のなでしこゼミナールが開催されました。今回は熊本市南部地域発達支援ネットワーク共催で、「『育てよう』子どもの言葉とコミュニケーション」と題し、一般社団法人ゆこり 代表理事で言語聴覚士でもあられます、下田祐輝先生にお話頂きました。地域のたくさんの御家族や支援者へご案内し、当日は総勢105名の皆様にご参加頂きました。子ども達の言葉やコミュニケーションを育てるにあたり、「幼少期に“想いで”をいっぱい作ってあげてほしい」と話をされた先生の言葉にとっても感銘を受けたゼミナールとなりました。



### 第15回たのしい発表会

#### 済生会しらふじ子ども園

12月8日（土）にアスパル富合にて『第15回たのしい発表会』を行いました。らいおん組（年長組）による和太鼓から始まり、各クラスの遊戯・劇・リズム遊びなどを披露しました。子どもたちは少し緊張した様子でしたが、大きな舞台上で堂々と発表する姿はとても凛々しく見えました。最後はらいおん組による合奏♪新世界♪で締めくくり、発表会は大成功！終わった後の子どもたちは笑顔と達成感で自信に満ち溢れているように見えました。



### 成人式

ふるた けんすけ  
古田 健将さん（済生会ウイズ）



大人の抱負 今の仕事を頑張って、他の仕事も頑張りたいです。

#### 済生会ウイズ

発行所  
済生会熊本福祉センター  
発行責任者 道端 由美子  
編集 広報委員会  
熊本市南区内田町3560-1  
TEL 096-223-3330  
FAX 096-223-3429  
http://www.sk-fukushi.jp/

